

**「環境-自然との共生と持続可能な循環社会」
アジア・大洋州の14カ国から若手環境教育関係者40名が来日します**

ジャパンファウンデーションは「環境-自然との共生と持続可能な循環社会」をテーマに東アジアコミュニティの将来を担う若手の NGO 関係者・教育関係者40名を14カ国から招へいします。

自然との共生の考え方に基づく伝統的な日本の自然観や文化と、日本の行政、学校、企業、NGO / NPO による持続可能な循環社会の実現に向けた取り組みを、レクチャー、施設訪問等を通して紹介するとともに、日本の関係者との意見交換を通じて、相互の交流を深めて頂くこととしております。

招へい期間： 2009年6月1日(月)～6月14日(日) 14日間

招へい人数： インド(2)、インドネシア(4)、カンボジア(2)、シンガポール(1)、タイ(3)、韓国(3)、中国(2)、フィリピン(4)、ブルネイ(4)、ベトナム(4)、マレーシア(3)、ミャンマー(4)、オーストラリア(2)、ニュージーランド(2)14カ国、40名。 ()内は、参加人数

主な訪問地： 「海の森」(東京都 6/4)、美山かやぶきの里 (京都府南丹市美山町 6/9)、伊勢神宮 (伊勢市 6/11)、名古屋プラスチックハンドリング株式会社 (名古屋市 6/12)

また、次のとおりワークショップを開催し、日本の NGO 関係者及び若手研究者を交えて知識や経験を共有します。非公開ですが取材を歓迎致しますので、担当まで事前登録をお願いいたします。

ワークショップ「持続可能な地域づくり：持続可能性を推進するもの、阻むもの」

日時： 2009年6月6日(土) 13:30～17:00

講師： 小澤紀美子 日本環境教育学会前会長 他

使用言語： 英語(全体討論部分について一部同時通訳有り)

会場： 芝パークホテル「ローズルーム」(別館2F) (電話 03-3433-4141)

この事業は「21世紀東アジア青少年大交流計画」(JENESYS Programme)* の一環として実施されます。
(*アジアの連帯のため、2007年1月に開催された第2回東アジア首脳会議(EAS)において表明された計画を元に、日本政府が2007年度に立ち上げた青少年交流プログラム)

取材を歓迎いたします。ぜひ貴紙・誌にてお取り上げくださいますようお願いいたします。

お問い合わせ： 独立行政法人国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 担当：横井、竹内
電話 / FAX: 03 - 5369 - 6060 / 6036 e-mail: jf-educators@jpf.go.jp